

## 華麗に、そして勇壮に

### 尾張津島天王祭

7月25日(土)、26日(日)

500年以上の歴史と伝統を伝える夏の風物詩、「尾張津島天王祭」が、今年も天王川公園を中心に盛大に行われます。

この祭は、昭和55年に車楽舟行事が国の重要無形民俗文化財に、昭和59年に車楽が県の有形民俗文化財に指定され、大阪天満宮の天神祭、広島島の厳島神社の管弦祭と並び日本の三大川祭のひとつに数えられています。

また、平成26年3月には、尾張津島天王祭の車楽舟行事をはじめ国の重要無形文化財となっている18府県の「山・鉾・屋台行事」32件(※)について、文化庁が国連教育科学文化機関(ユネスコ)無形文化遺産の候補として、一括提案しました。

日本を代表する「山・鉾・屋台行事」のひとつである豪華絢爛な時代絵巻「尾張津島天王祭」をお楽しみください。(※平成27年3月に1件追加され、33件となっています)

#### 天王祭の起源

天王祭の起源は、室町時代末期であるといわれていますが、ほかの説も様々あります。

共通しているのは、夏の酷暑を無事

に過ごすことと祈念する私たちの祖先が、疫病除けを神に祈り、神を迎えた「神迎え」の古い信仰から民衆のまつりとなつて発展してきたとされています。

現在の天王川公園となっているあたりは、むかし、佐屋川に注ぐ天王川が流れ、室町時代から川祭が行われていました。当時の津島には、津島5力村と呼ばれる5つの村(今市場、筏場、下構、堤下、米之座)があり、豊かな経済力を基盤として、開催されてきました。

#### 3カ月にわたる大祭「天王祭」

陰暦6月14日(宵祭)、翌15日(朝祭)を中心として3カ月間にわたって行われてきましたが、昭和38年から7月第4土曜日、翌日曜日を中心に行われるようになりました。

天王祭は、宵祭や朝祭を思い浮かべる方が多いと思いますが、天王祭全体のほんの一部に過ぎません。

天王祭の祭事は、①津島神社行事②市江車行事③津島車行事の3つの祭事からなっています。

津島神社行事の中心は、神葎神事にあります。神葎放流神事、神葎祭など一連の神事は、新しい神葎を迎え、1年間

本殿内にまつり、神葎にひと罪や穢れを託し流す神事です。

また、市江車や津島車では、宵祭や朝祭に向けて斎竹立などの行事が行われます。

宵祭の前夜、津島車では、稚児打廻が行われます。肩車にのった稚児の行列は、露払いを先頭に車屋を出発します。5人の稚児が車戸で船上奏楽の後、神社の拝殿前で3回ずつ打ち廻りする姿は、祭の無事を祈る人々の気持ちを表しています。



▲宵祭

## 夏の夜を彩る幻想的な宵祭

屋形に点火された提灯の火が、池の水に映って揺らぎ、夏風が川面を撫で始めるころ、提灯の幻想的な明かりに飾られた旧津島5力村の5艘のまきわら舟が車河戸からゆつくりと姿をあらわします。屋台の上に半球、山型に1年365日を、中央高くにある真柱に12カ月を、そして舟の前方に飾られた三段で半円形の1カ月をあらわす提灯が飾り付けられています。舟上では津島笛が奏でられ、川面に映るまきわら舟は、私たちが美しい夢の世界に導きいれてくれます。

約1時間を要して御旅所に着き、津島神社から移された神輿に参拝し、宵祭は大づめを迎えます。

### 平成27年度の祭事日程

日程	行事名
7月12日(日)	斎竹立 神輿刈取場選定神事
7月21日(火)	一夜酒醸造 神輿刈神事
7月22日(水)	船分
7月23日(木)	神輿揃神事
7月24日(金)	神輿飾り
7月25日(土)	稚児打廻 神輿渡御祭
7月26日(日)	宵祭 大御饗調進祭 朝祭
7月27日(月)	神輿還御祭
7月28日(火)	神輿放流神事
8月3日(月)	神輿着岸祭
8月4日(火)	神輿祭
10月10日(土)	神輿納神事

## 若人の雄姿と優雅な時代絵巻の朝祭

宵祭の余韻を残し一夜が明けると、朝祭が始まります。市江車(愛西市)を先頭に、津島5車がこれに続きます。

市江車は、屋形前部に献上物(紅白の梅花、神酒、白米)を据え、屋形の周囲には、絢爛たる小袖幕を張り、前方隅に紅白梅、後方隅には松を飾ります。市江車が朝祭に常に先頭で進むのは、むかし疫病神を天王川の川口、市江村まで送り下り、盛大な祭礼を行った名残であるといわれています。

津島5車は、それぞれに布幕の色や縫い、彫刻などを異にして美しさを競います。置物人形を乗せた車楽が津島笛を奏でながら、中之島付近に進みます。



▲布鉾を担いで水中へ飛び込む若人

市江車から10人の若者が布鉾を担いで次々と水中へ飛び込み、御旅所に泳ぎ着きます。その後、神輿に参拝し神社へと走り、拝殿前に布鉾を奉納します。この際には、布鉾からしたたる水を患部につけると治るといふ言い伝えがあるので、集まった見物人が布鉾に駆け寄り、光景が見られます。

各車の稚児が御旅所前で上陸し終わると、稚児が神社本殿まで帰る神輿とともに練り歩きます。その後、津島神社で稚児の神前奏楽が行われ、朝祭の幕は閉じます。



▲朝祭

### 第3回尾張津島天王祭プレイベント

夏 六百年 「観る・聞く・踊る 天王祭」

日時 7月11日(土)・12日(日)

午後4時～8時30分

場所 津島神社境内(雨天 参集所)

内容 ライトアップされた津島神社の境内に特設舞台を組み、郷土芸能・和のしらべ・ダンスなどの披露と楽市楽

### 「尾張津島天王祭」の交通抑制にご協力ください

祭の開催に伴い、会場周辺の交通抑制を行います。

車両の通行ができなくなる時間

7月25日(土) 午後6時～10時30分

車両通行抑制協力区域は、天王川公園を中心に広範囲に及びます。また、津島高等学校での打ち上げ花火実施に伴う抑制も行われますので、詳しくは「尾張津島天王祭」のリーフレットをご参照ください。

### 居住等証明書について

帰宅等がどうしても抑制時間にかかる場合には、前もって左記まで届け出てください。証明書をお渡しします。

なお、届け出には住所、氏名(使用者)、登録番号(ナンバー)を記入していただきます。

閉庁時については、市役所の宿直にて証明書を発行しますのでご利用ください。  
届出・問合せ 産業振興課観光G(市役所2階)内線26526・26526